

非鉄金属概況

日本鉱業協会 企画調査部

銅

【海外】

1. 価格推移



- ・ 上昇基調が続き、9月21日は2018年6月以来の高値となる\$6,837
- ・ その後、欧州のCOVID-19感染再拡大で下落

(2018年9月～2020年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際銅研究会(ICSIG)の9月21日発表によると、2020年1～6月の世界の銅需給実績は以下の通りだった。

<2020年1～6月の世界の銅需給実績表>

単位: 千トン

	2020年1～6月 実績	2019年1～6月 実績	増減率	2020年年間予測 (2019年10月発表)
鉱石生産	9,838	9,937	-1.0%	20,921
地金生産	11,898	11,783	+1.0%	25,281
地金消費	12,133	12,092	+0.3%	25,000
需給バランス	-235	-309		+281

(うち、中国の銅需給実績)

	2020年1～6月 実績	2019年1～6月 実績	増減率
鉱石生産	832	807	+3.1%
地金生産	4,819	4,765	+1.1%
地金消費	6,702	6,137	+9.2%

(出典) 国際銅研究会

3. 供給障害

◆ チリ北部でマグニチュード 6.8 の地震発生(チリ)

9月1日、チリ北部の内陸部でマグニチュード 6.8 の地震が発生した。チリ内務省は、震源地付近で停電や道路の地滑りなどの被害は発生したものの、近郊に鉱山を保有するアントファガスタ(チリ)やコデルコ(チリ)など、各鉱山会社の被害や操業への影響はなかったと述べた。

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

9月1日	9月4日	9月8日	9月11日	9月16日	9月24日
750	740	760	750	760	740

2. 銅地金生産・出荷・生産者在庫(2020年8月分=令和2年8月分)

	2020年8月	2020年7月比	2019年8月比
生産	135,431 t	+0.4%	+4.8%
出荷	132,828 t	-4.3%	+11.9%
在庫	115,749 t	+2.3%	+9.8%

(出典)日本鉱業協会受払

生産は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は3か月連続の増加となった。出荷は前月比が4か月ぶりの減少、前年同月比は2か月連続の増加。内訳は内販が前月比13.2%増、前年同月比2.0%減の6.8万tで、それぞれ2か月ぶりの増加と14か月連続の減少。輸出は前月比33.1%減、前年同月比7.1%増の5.2万tで、それぞれ4か月ぶりの減少と9か月連続の増加。内販のうち電線向けは前年同月比9.7%減の4.3万tで11か月連続の減少、伸銅品向けは9.7%増の2.2万tで17か月ぶりの増加。在庫は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は8か月連続の増加となった。

3. 需要部門別動向

(一社)日本電線工業会によると、2020年8月の銅電線出荷は前年同月2019年8月比15.9%減の4.5万t(推定)と11か月連続で減少した。うち内需は前年同月比14.7%減の4.4万tで7か月連続の減少、輸出は54.6%減の700tで8か月連続の減少。内需の部門別では、通信が2か月ぶりの増加、電力が2か月連続、電気機械が24か月連続、自動車は5か月連続、建設・電販が7か月連続の減少となった。

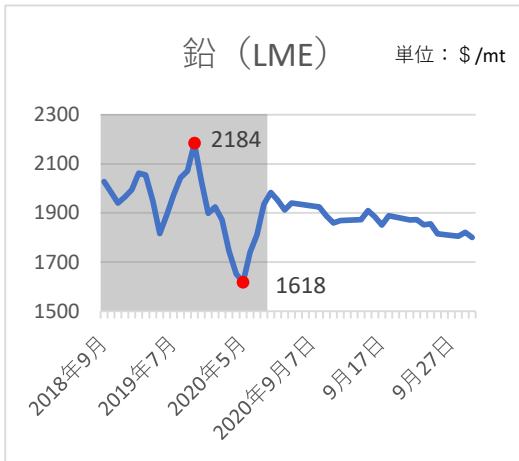
(一社)日本伸銅協会によると、2020年8月の伸銅品生産は前年同月2019年8月比31.2%減の3.7万t(速報)と21か月連続の減少となった。品種別には、半導体、

コネクタ、自動車端子向けの銅条が前年同月比 28.1%減で 4 か月連続の減少。自動車端子向けの黄銅条は 39.0%減で 19 か月連続の減少。コネクタ向けの青銅板条は 22.6%減で 4 か月連続の減少。エアコン向けの銅管は 24.8%減で 7 か月連続の減少となった。

鉛

【海外】

1. 価格推移



- ・ 前月から引き続き前半は \$ 1,900 近辺を推移
- ・ 下旬は欧州の COVID-19 感染再拡大で下落

(2018年9月～2020年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の9月22日発表によると、2020年1～7月の世界の鉛需給実績は以下の通りだった。

<2020年1～7月の世界の鉛需給実績表>

単位：千トン

	2020年1～7月 実績	2019年1～7月 実績	増減率	2020年間予測 (2019年10月発表)
鉱石生産	2,532	2,705	-6.4%	4,940
地金生産	6,544	6,750	-3.1%	11,960
地金消費	6,416	6,781	-5.4%	11,900
需給バランス	+128	-31		+55

(うち、中国の鉛需給実績)

	2020年1～7月 実績	2019年1～7月 実績	増減率
鉱石生産	1,084	1,119	-3.1%
精鉱輸入	393	502	-21.9%
地金生産	2,690	2,713	-0.9%
地金輸入	21	94	-77.8%
地金消費	2,722	2,747	-0.9%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

9月1日	9月9日	9月17日
270	267	261

2. 鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2020年8月分=令和2年8月分)

	2020年8月	2020年7月比	2019年8月比
生産	17,441 t	+5.5%	-1.6%
出荷	15,273 t	-7.3%	+13.9%
在庫	22,943 t	+10.1%	+27.0%

(出典)日本鉱業協会受払

生産は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は2か月連続の減少となった。出荷は内需の減少により前月比は減少したものの、輸出の増加により前年同月比は増加。前年同月比は6か月ぶりの増加となった。在庫は前月比、前年同月比ともに増加。前年同月比は4か月連続の増加となった。

3. 需要部門動向

7月の自動車生産台数は前年同月比22.1%減の69.8万台となり10か月連続で前年同月を下回った。また、二輪車生産台数は前年同月比32.0%減の3.3万台となり、6か月連続で前年同月を下回った。

(一社)電池工業会によると、7月の自動車用鉛蓄電池のメーカー販売個数は、新車用、補修用、二輪車用を合わせた総合計で184.9万個(前年同月比9%減)と10か月連続で減少、自動車用以外の鉛蓄電池も45.4万個(14%減)と6か月連続で減少した。その結果、鉛蓄電池のトータル出荷は230.2万個(10%減)と10か月連続で減少した。

鉛関連製品生産統計(2020年7月分=令和2年7月分)

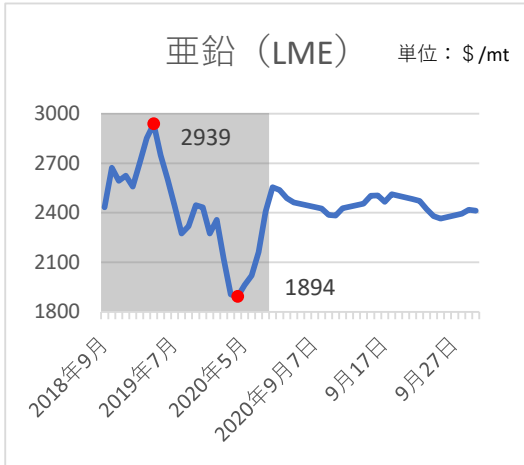
	2020年7月	2020年6月比	2019年7月比
自動車	697,867台	+35.9%	-22.1%
自動車用鉛蓄電池(鉛量 t)	14,846 t	+17.1%	-14.0%

(出典)一般社団法人日本自動車工業会、経済産業省生産動態統計調査

亜鉛

【海外】

1. 価格推移



- ・ 9月1日、2019年11月以来の高値となる\$2,554
- ・ 下旬は欧州の COVID-19 感染再拡大で下落

(2018年9月～2020年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会 (ILZSG) の 9 月 22 日発表によると、2020 年 1～7 月の世界の亜鉛需給実績は以下の通りだった。

<2020年1～7月の世界の亜鉛需給実績表>

単位：千トン

	2020年1～7月 実績	2019年1～7月 実績	増減率	2020年間予測 (2019年10月発表)
鉱石生産	6,804	7,362	-7.6%	13,640
地金生産	7,696	7,681	+0.2%	13,990
地金消費	7,431	7,822	-5.0%	13,800
需給バランス	+265	-141		+192

(うち、中国の亜鉛需給実績)

	2020年1～7月 実績	2019年1～7月 実績	増減率
鉱石生産	2,305	2,398	-3.9%
精鉱輸入	1,093	809	+35.1%
地金生産	3,489	3,407	+2.4%
地金輸入	243	346	-29.6%
地金消費	3,639	3,659	-0.6%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

9月1日	9月9日	9月14日	9月17日	9月25日
316	307	313	316	301

2. 亜鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2020年8月分=令和2年8月分)

	2020年8月	2020年7月比	2019年8月比
生産	44,575 t	+71.7%	+3.7%
出荷	43,556 t	+14.1%	+6.4%
在庫	67,310 t	+0.9%	+4.0%

(出典)日本鉱業協会受払

生産は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は6か月ぶりの増加となった。出荷は輸出の増加により前月比、前年同月比ともに増加。前年同月比は11か月ぶりの増加となった。在庫は前月比、前年同月比ともに増加。前年同月比は12か月連続の増加となった。

3. 需要部門動向

7月の亜鉛めっき鋼板生産は前年同月比39.2%減の50.6万tとなり10か月連続で前年同月を下回った。

(一社)日本伸銅協会によると、2020年7月の伸銅品生産は前年同月比33.9%減の44,217t(確報値)と20か月連続の減少となった。黄銅製品では、黄銅条が46.1%減の4,483tで18か月連続の減少。黄銅棒が33.2%減の10,329tで6か月連続の減少となった。

亜鉛関連製品生産統計(2020年7月分=令和2年7月分)

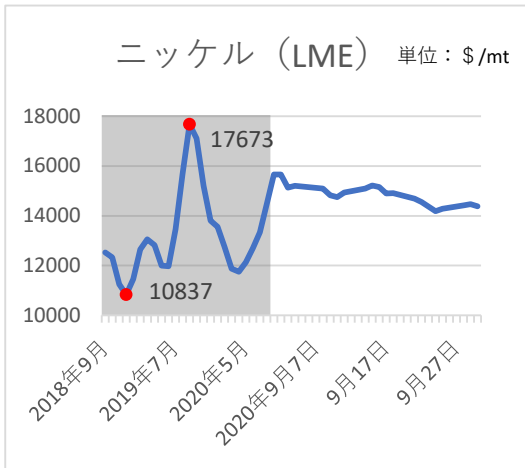
	2020年7月	2020年6月比	2019年7月比
亜鉛めっき鋼板	506千t	+11.0%	-39.2%
黄銅製品	16,721 t	-5.2%	-38.3%
亜鉛ダイカスト	778 t	-18.5%	-50.2%
酸化亜鉛(亜鉛華)	2,981 t	-14.2%	-46.1%

(出典)一般社団法人日本鉄鋼連盟、経済産業省生産動態統計調査

ニッケル

【海外】

1. 価格推移



- 9月1日、2019年11月以来の高値となる\$15,660
- 下旬は欧州の COVID-19 感染再拡大で下落

(2018年9月～2020年8月の値は月平均)

2. 需給動向

国際ニッケル研究会 (INSG) の9月23日発表によると、2020年1～7月の世界のニッケル需給実績は以下の通りだった。

<2020年1～7月の世界のニッケル需給実績表>

単位: 千トン

	2020年1～7月 実績	2019年1～7月 実績	増減率	2020年間予測 (2019年10月発表)
鉱石生産	1,260	1,404	-10.2%	—
地金生産	1,379	1,354	+1.9%	2,476
地金消費	1,287	1,389	-7.3%	2,522
需給バランス	+91	-35		-47

(うち、中国のニッケル需給実績)

	2020年1～7月 実績	2019年1～7月 実績	増減率
鉱石生産	60	60	+0.7%
地金生産	414	463	-10.6%
地金消費	737	750	-1.8%

(出典) 国際ニッケル研究会

【国内】**1. メタルニッケル生産・出荷・生産者在庫(2020年8月分=令和2年8月分)**

	2020年8月	2020年7月比	2019年8月比
生産	5,513 t	+9.3%	+9.7%
出荷	3,646 t	-19.2%	-12.2%
在庫	7,839 t	+31.3%	+39.4%

(出典)日本鉱業協会受払

生産は前月比が4か月連続の増加、前年同月比は2か月ぶりの増加。出荷は前月比が3か月ぶりの減少、前年同月比は2か月ぶりの減少。出荷の内訳は特殊鋼向けが前年同月比44.5%減の612tで4か月連続の減少。在庫は前月比、前年同月比ともに4か月連続の増加となった。

2. フェロニッケル生産・出荷・生産者在庫(2020年8月分=令和2年8月分)

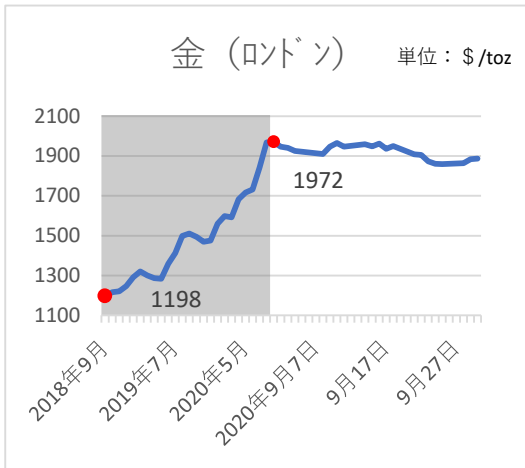
	2020年8月	2020年7月比	2019年8月比
生産	2,959 t	+6.4%	-29.8%
出荷	3,148 t	+5.6%	-12.8%
在庫	8,056 t	-2.3%	+20.2%

(出典)日本鉱業協会受払(ニッケル含有量ベース推計値)

生産は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は6か月連続の減少。出荷は前月比が2か月連続の増加、前年同月比が8か月連続の減少。在庫は前月比が2か月連続の減少、前年同月比は25か月連続の増加となった。

金

【海外】 価格推移



安全資産とされる金の相場は依然として高水準

- 8月6日の史上最高値 \$2067.15 から下落し、9月は \$1900 近辺を推移

(2018年9月～2020年8月の値は月平均)

【国内】

1. 建値推移(円/g)

9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日
6,735	6,724	6,663	6,638	6,650	6,613	6,688	6,688
9月11日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月23日	9月24日
6,672	6,662	6,674	6,638	6,640	6,600	6,462	6,352
9月25日	9月28日	9月29日	9月30日				
6,352	6,336	6,425	6,470				

2. 金地金生産・出荷・生産者在庫(2020年8月分=令和2年8月分)

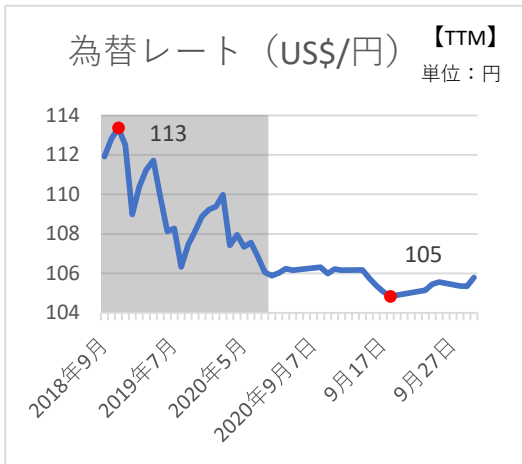
	2020年8月	2020年7月比	2019年8月比
生産	8,397kg	-1.1%	+5.7%
出荷	8,248kg	-4.0%	+2.2%
在庫	4,111kg	+3.8%	-5.2%

(出典)経済産業省生産動態統計調査

生産は前月比が2か月連続の減少、前年同月比は2か月ぶりの増加となった。出荷は前月比が2か月連続の減少、前年同月比は4か月ぶりの増加となった。在庫は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は5か月連続の減少となった。

為替相場

為替相場推移



(2018年9月～2020年8月の値は月平均)

- ・ 前月から引き続き前半は\$1=106円近辺を推移
- ・ 中旬は米ゼロ金利継続発表や米経済指標悪化などにより下落